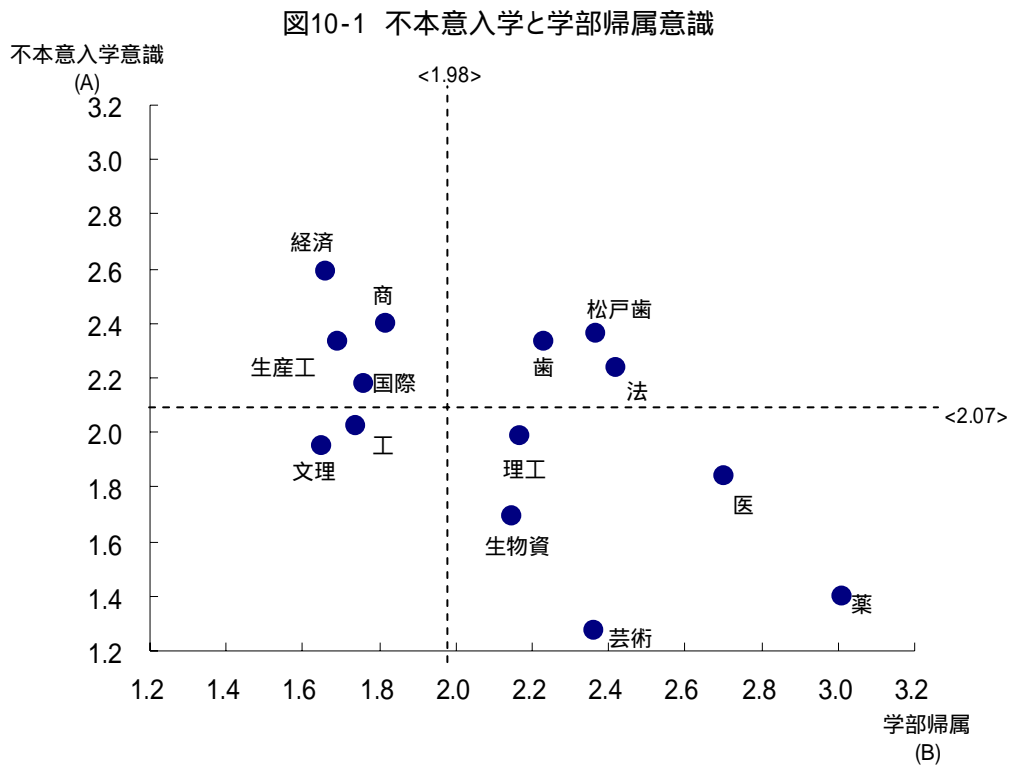


## 第10章 学生の意識からみた各学部の特徴

### 1. 不本意入学と学部別帰属意識

不本意入学意識が高い学生は学部帰属意識が低いと想定される。経済学部、商学部、生産工学部、工学部、文理学部は学部への帰属意識が低い状況にある。これらのうち、社会科学系の経済学部、生産工学部、商学部は不本意意識の高い学部である。

松戸歯学部、歯学部、法学部は不本意入学意識が高いが、学部に対する帰属意識も高い状況にある。これは専門性の高い学部である。一方、同様に専門性の高い学部である医学部、薬学部、芸術学部は不本意入学意識が低く、学部帰属意識が高い。

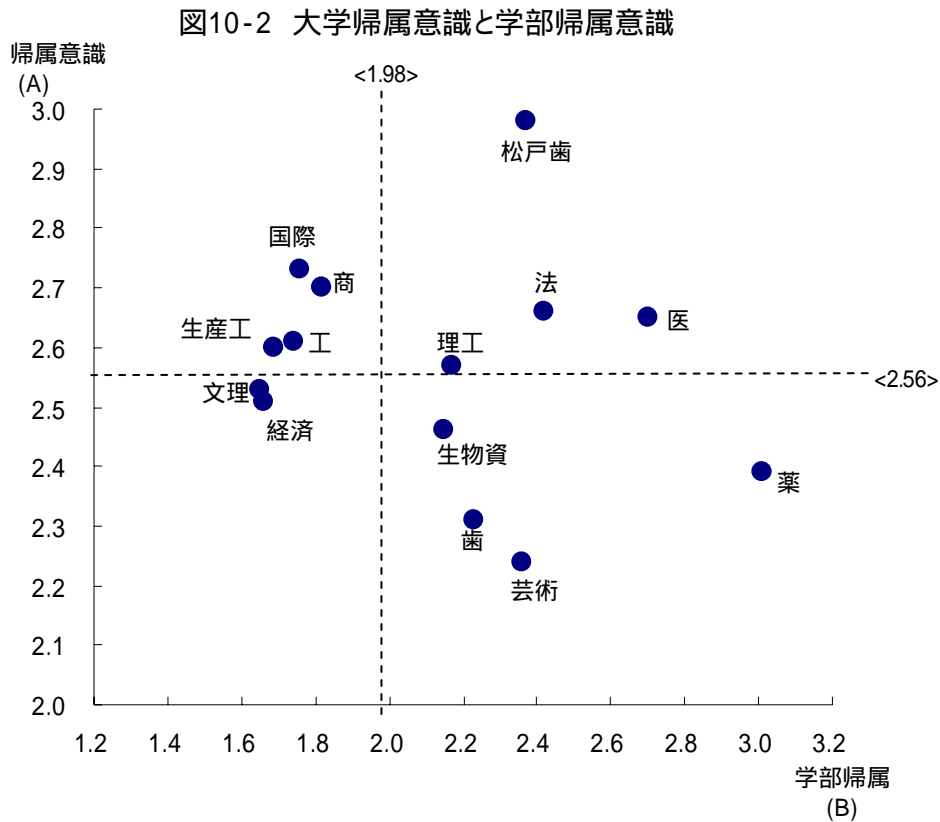


	法	文理	経済	商	芸術	国際	理工	生産	工	医	歯	松戸	生物	薬
A	2.24	1.95	2.59	2.40	1.27	2.18	1.99	2.33	2.02	1.84	2.33	2.36	1.69	1.40
B	2.42	1.65	1.66	1.82	2.36	1.76	2.17	1.69	1.74	2.70	2.23	2.37	2.15	3.01

## 2. 大学帰属意識と学部帰属意識

学部帰属意識が日本大学帰属意識に結びついている学部は、松戸歯学部、医学部、法学部の3学部である。一方、学部への帰属が大学の帰属意識にまでなっていないのが、薬学部、芸術学部、歯学部の3学部であるといえる。

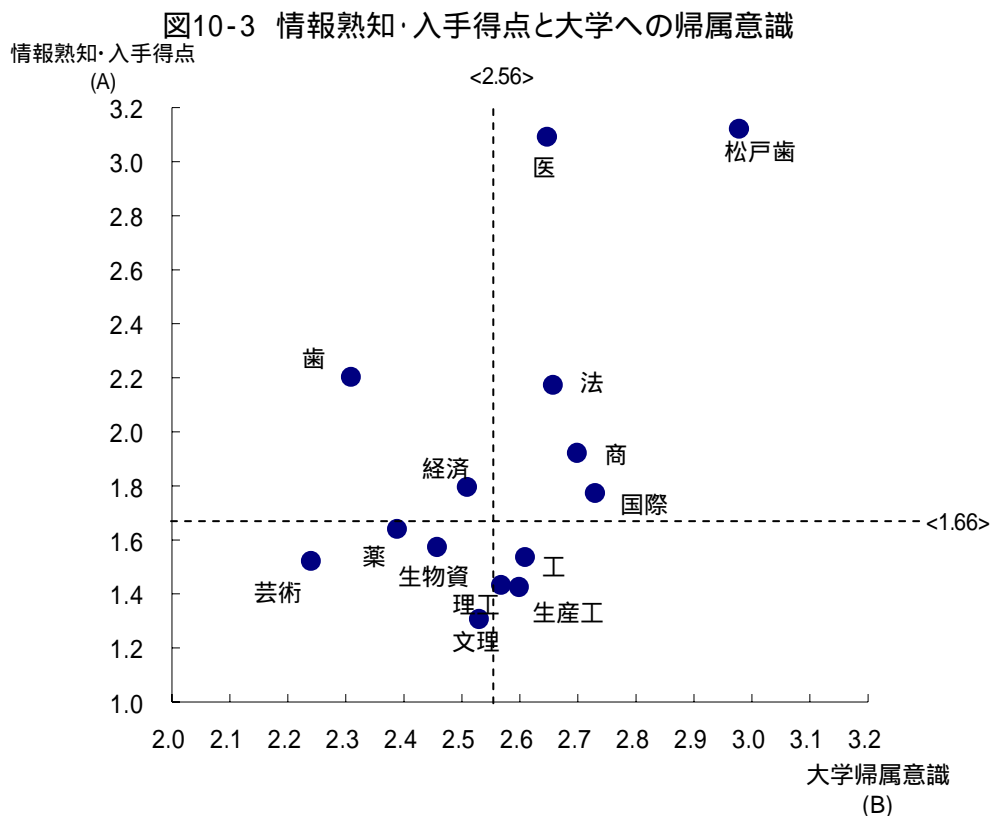
商学部、国際学部、工学部、生産工学部は、学部への帰属よりも大学への帰属の方が高くなっている。



	法	文理	経済	商	芸術	国際	理工	生産	工	医	歯	松戸	生物	薬
A	2.66	2.53	2.51	2.70	2.24	2.73	2.57	2.60	2.61	2.65	2.31	2.98	2.46	2.39
B	2.42	1.65	1.66	1.82	2.36	1.76	2.17	1.69	1.74	2.70	2.23	2.37	2.15	3.01

### 3. 情報熟知・入手得点と大学帰属意識

医学部、歯学部、法学部等、卒業後に国家試験制度のある学部は情報入手得点が高い。芸術学部は、大学に対する帰属意識も情報入手得点も低い学部である。歯学部は、情報熟知・入手得点は高いが、大学への帰属意識は低い。文理学部は、情報熟知・入手得点が最も低い学部となっている。



	法	文理	経済	商	芸術	国際	理工	生産	工	医	歯	松戸	生物	薬
A	2.17	1.30	1.79	1.92	1.52	1.77	1.43	1.42	1.53	3.09	2.20	3.12	1.57	1.64
B	2.66	2.53	2.51	2.70	2.24	2.73	2.57	2.60	2.61	2.65	2.31	2.98	2.46	2.39

〔参考〕入学から現在までの意識（得点）

	不本意入学 意識得点	大学帰属 意識得点	学部帰属 意識得点	情報熟知・ 入手得点
全 体	2.07	2.56	1.98	1.66
法学部	2.24	2.66	2.42	2.17
文理学部	1.95	2.53	1.65	1.30
経済学部	2.59	2.51	1.66	1.79
商学部	2.40	2.70	1.82	1.92
芸術学部	1.27	2.24	2.36	1.52
国際関係学部	2.18	2.73	1.76	1.77
理工学部	1.99	2.57	2.17	1.43
生産工学部	2.33	2.60	1.69	1.42
工学部	2.02	2.61	1.74	1.53
医学部	1.84	2.65	2.70	3.09
歯学部	2.33	2.31	2.23	2.20
松戸歯学部	2.36	2.98	2.37	3.12
生物資源科学部	1.69	2.46	2.15	1.57
薬学部	1.44	2.39	3.01	1.64

#### 4. 学生の意識や生活からみた学部特徴

##### (1) 法学部

不本意入学意識が高い(希望した大学に入れなかった学生が39.9%を占める)が、大学・学部への帰属意識も高い。また、情報に関する関心も高い学生の多い学部である。

勉学の目標、社会的関心(ボランティア活動等)も明確であり、まじめな学生が多い。

アルバイトをしている学生も多く(58.0%)、そのうちの90.8%が長期のアルバイトをしている。(家庭からの仕送りだけで修学に不自由する学生が21.4%を占めている。)

日本大学に対し、「学力レベルを高く」(47.1%)、「魅力的な授業」(38.4%)、「キャンパスライフ」(32.1%)の要望を持っている。

	< 5%以上増加 >
< 増加したもの >	(平成6年度 平成15年度)
・東京の大学に入学したかった	(45.5% 52.2%)
・できるだけ多くの授業に出て良い成績を取ろうと思った	(59.9% 69.7%)
・日大スポーツの活躍は日大生として誇りに思う	(48.8% 56.0%)
・学部は今後世間で評価されると思う	(38.1% 47.1%)
・学部出身者は社会に出てから有利と思う	(44.1% 49.4%)
・必要な基礎学力は補修して欲しい	(44.1% (9職) 57.8%)
・基礎学力の不足を痛感する	(64.8% 70.3%)
・入学後、勉学意欲がもてるようになった	(34.9% 45.0%)
・今、はっきりした目標をもって勉学している	(47.0% 55.7%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(67.1% 73.8%)
・パソコンをもっている	(33.1% 78.6%)
・ボランティア活動の経験ある	(22.0% 33.3%)
・ボランティア活動をしたい	(53.3% 59.5%)
< 減少したもの >	< 5%以上減少 >
・「日本大学新聞」をよく読んでいる	(40.1% 19.3%)
・自分の学部の機関誌(広報誌)をよく読んでいる	(42.1% 21.1%)
・日本大学校歌(一番)の歌詞を見ないで歌える	(23.8% 11.5%)
・自分の学部の学部長の名前を知っている	(61.4% 40.5%)
・午前0時前には寝ている	(20.5% 14.0%)
・普段は7時間以上眠っている	(42.6% 34.4%)
・週に3日以上は酒類を飲む	(15.1% 8.1%)
・セクハラに強い関心をもっている	(26.2% 20.1%)

(2) 文理学部

不本意入学者が比較的少ない(希望した大学に入れなかった学生34.4%)が、学部への  
帰属意識が特別高いわけではない。

「東京の大学に入りたかった」という学生が増加しはじめている。

「基礎学力の不足」を認める学生が71.2%、「補修して欲しい」と希望している学生が50  
%を超えている。

大学新聞・学部機関誌をよく読むという学生は10%台前半である。

アルバイトをしている学生(59.3%)が多く、そのうち90.9%の学生が長期アルバイト  
をしており、家庭からの仕送りだけでは修学に不自由を感じている学生が22.3%を占めて  
いる。

大学を誇れるようにするためには「魅力的な授業」(49.8%)が必要としている。

学内での安全・安心に対する評価が低い。

<増加したもの> (平成6年度 平成15年度)

・東京の大学に入学したかった	(40.2% 47.1%)
・パソコンをもっている	(33.0% 78.0%)
・ボランティア活動をしている(した)	(22.6% 35.4%)
・学内での盗難や器物破損の危険を感じる	(53.4% 64.0%)
・授業のための勉強やレポート作成などのためにゆとりの時間がもてない	(39.5% 52.0%)
・午前0時前には寝ている	(26.1% 31.1%)

<減少したもの>

・自分に自信がもてるようになった	(42.5% 34.5%)
・「日本大学新聞」をよく読んでいる	(45.4% 13.2%)
・自分の学部の機関誌(広報誌)をよく読んでいる	(33.5% 12.9%)
・日本大学校歌(一番)の歌詞を見ないで歌える	(23.5% 12.7%)
・自分の学部の学部長の名前を知っている	(36.9% 18.7%)
・日本大学の総長の名前を知っている	(35.9% 17.5%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(45.6% 20.6%)
・普段は7時間以上眠っている	(43.6% 31.1%)
・ぼんやり過ごす時間が多い	(57.7% 52.5%)
・セクハラに強い関心を寄せている	(23.5% 18.4%)
・日大生であることに誇りをもっている	(46.2% 38.1%)

### (3) 経済学部

不本意入学と考えられる学生が最も多い学部である。学部への帰属意識も低い。

入学生の約半数が日本大学より高い水準の大学を希望していた。

入学後の意識・行動に関する71項目中23項目で、平成6年から平成15年にかけて5%以上増加している。反対に18の項目で5%以上比率が下がっている。

変化の大きな学部であるといえよう。(平成6年から9年、平成12年から15年にかけての変化が大きいに思われる。)

アルバイトをしている学生が71.5%、そのうちの86.9%が長期アルバイトをしており、全体の48.0%が授業や勉強のための時間的ゆとりがないと回答している。

日大を誇れる大学にするためには、「学力レベルを高く」と「魅力的な授業」が必要であると回答している学生が多い。

#### <増加したもの>

(平成6年度 平成15年度)

・どうしても東京の大学に入学したかった	(49.5%	57.7%)
・大学の雰囲気はどうしてもなじめなかった	(21.3%	30.5%)
・日本大学に入学したが極めて積極的になれなかった	(15.2%	27.6%)
・他大学への再受験を考えたことがあった	(17.7%	31.3%)
・他の学部・他の学科に本当は入りたかった	(39.4%	40.2%)
・日大より高い水準の大学へ入学したかった	(41.5%	49.6%)
・日大が浪人で悩んだ	(15.5%	22.8%)
・日大に来るべきではなかった	(15.2%	22.0%)
・できるだけ授業に出て良い成績をとろうと思った	(62.1%	67.5%)
・自分より頭のいい者が周りにいると思った	(23.8%	35.0%)
・日本大学の良さを認めるようになった	(50.9%	57.3%)
・はっきりとした目標をもって勉強している	(36.1%	41.5%)
・入学後、勉強意欲がもてるようになった	(28.9%	39.0%)
・良い影響を受ける教職員に出会えた	(28.2%	34.6%)
・日大は自分の才能を伸ばしてくれる	(23.1%	30.5%)
・夕食は1人で食べている	(30.0%	41.1%)
・栄養バランスを考えている	(45.8%	52.4%)
・ゆとりの時間がもてない	(39.7%	48.0%)

#### <減少したもの>

・入学してから「さあ遊べる」と思った	(52.3%	44.7%)
・自分の学部に誇りをもっている	(42.6%	34.1%)
・日大に入って良かった	(75.7%	69.9%)
・将来に希望がもてる	(32.5%	27.2%)
・自分に自信がついた	(44.0%	35.0%)
・自分の学部の出身者は社会に出てから有利だと思う	(45.1%	39.0%)
・「日大生」であることを誇りに思っている	(50.2%	35.0%)
・日本大学出身者は社会に出てから有利だと思う	(50.2%	35.0%)
・「日本大学新聞」をよく読んでいる	(29.6%	20.3%)
・自分の学部の機関誌(広報誌)をよく読んでいる	(24.9%	15.4%)
・日本大学校歌(一番)の歌詞を見ないで歌える	(23.5%	15.4%)
・学部長名を知っている	(47.8%	37.8%)
・日本大学の総長の名前を知っている	(28.2%	22.4%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(46.6%	24.0%)
・睡眠時間は7時間以上	(49.8%	40.2%)

#### (4) 商学部

不本意入学意識が比較的高く、学部帰属意識は14学部の平均を下回る。大学への帰属意識は比較的高い。

「東京にある大学に入学したかった」学生が半数を超える58.4%、「日本大学より高い水準の大学に行きたかった」学生が49.1%、現在、「日大に来るべきでなかった」と反省している学生が19.6%を占めている。

現在、アルバイトをしている学生が62.8%、そのうち、長期アルバイトをしている学生が83.4%を占めている。

日大に入学して良かった(70.5%)、商学部で良かった(70.5%)という学生は、全体で70%程度であるが、平成6年に比較すると減じている。

日本大学を誇れる大学にするためには、「学力的レベルが高い」大学、「魅力的な授業が多い大学」にするという意見がそれぞれ34.5%、34.8%を占めている。

<増加したもの>	(平成6年度 平成15年度)
・できるだけ授業に出て良い成績をとろうと思った	(55.0% 64.9%)
・大学の雰囲気になじめなかった	(20.3% 31.8%)
・自分より頭のいい者がいない	(22.8% 28.6%)
・日本大学に入学したが参りで積極的になれなかった	(13.6% 22.6%)
・他大学への再受験を考えたことがあった	(19.8% 28.3%)
・入学後、勉学意欲がもてるようになった	(33.2% 40.8%)
・ぼんやり過ごす時間が多い	(51.2% 59.2%)
・夕食はほとんど外食である	(22.0% 30.1%)
<減少したもの>	
・入学後、自分に自信がもてるようになった	(45.0% 35.4%)
・入学後、人間性が豊かになった	(66.3% 57.7%)
・自分の学部の機関誌(広報誌)をよく読んでいる	(17.8% 10.1%)
・入学してから「さあ遊べる」と思った	(55.0% 48.8%)
・自分の学部に誇りをもっている	(53.7% 35.7%)
・日大生としての誇りをもっている	(52.0% 44.0%)
・日大出身者は社会的に有利	(46.5% 38.4%)
・自分の学部の学部長の名前を知っている	(62.4% 40.8%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(48.5% 21.1%)
・授業のための勉学やレポート作成などのためにゆとりの時間がもてない	(48.5% 39.2%)
・今の学部で良かった	(77.5% 70.5%)
・日本大学に入って良かった	(77.7% 70.5%)



(5) 芸術学部

不本意入学が最も少なく、学部への帰属が高いにもかかわらず、大学に対する帰属意識が最も低いユニークな学部といえる。

平成6年から15年度までの学生の意識に最も変化の少ない学部といえる。他の学部と比較して、社会的な評価や認識が確定され、入学生の期待を裏切らない状況にあると言えるかも知れない。

アルバイトをしている学生は56.7%、そのうち88.0%が長期アルバイトをしている。

仕送りだけでは、27.2%の学生が修学に不自由を感じている。

入学生の入学動機で最も多いのは「ユニークな学科がある」(46.0%)である。

大学を誇れるようにするためには、「魅力的な授業が多い」大学にすればよいと、半数以上の54.0%の学生が回答している。

<増加したもの>

(平成6年度 平成15年度)

・東京の大学に入学したかった	(34.9% 49.3%)
・勉強意欲が持てる	(47.8% 55.7%)
・授業や勉強のためのゆとりの時間がない	(37.5% 47.3%)
・朝食を食べないことが多い	(22.4% 29.9%)

<減少したもの>

・入学してから「さあ遊べる」と思った	(34.5% 25.2%)
・入学後、人間性が豊かになった	(72.0% 65.8%)
・学部に誇りをもっている	(73.3% 67.4%)
・学部は今後評価される	(50.4% 40.9%)
・普段は7時間以上眠っている	(40.1% 27.2%)

(6) 国際関係学部

不本意入学という学生が比較的多いが、大学に対する帰属意識は14学部の中では2番目に高い。しかし、学部に対する帰属意識は低い学部である。

入学決心理由は「希望した大学に入学できなかった」(25.3%)が最も多い。

アルバイトをしている学生は57.3%、そのうち「長期」アルバイトが86.9%を占め、送りだけでは修学が不自由と回答している学生が27.3%を占めている。

「今の学部で良かった」という学生は65.4% (減少傾向)、「他学部、他学科に入りたかった」という学生は49.0% (増加傾向)にある。

「魅力的授業」を多くして欲しい(45.6%)という意見や、「外国人が多い国際的大学」(28.3%)が期待されているのかも知れない。

<増加したもの>

(平成6年度 平成15年度)

・東京の大学に入学したかった	(14.5%	24.7%)
・自分は日本大学に来るべきではなかった	(14.5%	20.3%)
・大学の雰囲気はどうしてもなじめなかった	(15.7%	26.1%)
・自分より頭のいい者が周りにはほとんどいないと感じた	(11.3%	22.9%)
・日本大学に入学したが極めて積極的にはなれなかった	(13.8%	31.9%)
・他大学への再受験を考えたことがあった	(27.0%	31.9%)
・他の学部、他の学科に本当は入りたかった	(42.8%	49.0%)
・入学後、日大の良さを認めた	(50.3%	56.8%)
・日大出身者は社会的に有利である	(34.6%	42.2%)
・自分の身内を入学させたい	(13.2%	18.8%)
・自分の才能を伸ばしてくれる	(23.3%	31.1%)
・朝食を食べないことが多い	(30.2%	45.1%)
・夕食はほとんど外食である	(11.3%	21.0%)
・タバコをすっている	(17.0%	26.3%)
・週3日以上は飲酒する	(8.8%	15.4%)
・授業のための勉強やレポート作成などのためにゆとりの時間がもてない	(34.0%	51.5%)

<減少したもの>

・入学して「さあ遊べる」と思った	(39.6%	33.8%)
・今の学部に入って良かった	(74.2%	65.4%)
・目標をもって勉強している	(44.0%	38.6%)
・自分の学部に誇りをもっている	(49.7%	37.4%)
・自分の学部は今後益々世間で評価されると思う	(53.5%	41.0%)
・「日本大学新聞」をよく読んでいる	(23.9%	18.3%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(45.9%	24.9%)
・栄養バランスを考えている	(56.6%	50.7%)
・普段は7時間以上眠っている	(44.0%	34.0%)
・午前0時前には寝ている	(28.3%	20.1%)

(7) 理工学部

男子学生が85%を超えている。

不本意入学者は14学部の平均に近い得点である。

大学帰属意識、学部帰属意識も平均に近い学部である。

アルバイトをしている学生が51.5%、そのうち長期アルバイトをしている学生が85.9%を占めている。

仕送りだけで修学継続が困難という学生が9.4%、不自由を感じるという学生が25.2%を占めている。

「日大より高い水準の大学」を希望した学生(42.1%)やとにかく「東京の大学へ入学したかった」という学生(30.9%)の比率が比較的低い水準にあり、理工学部を目標のひとつにして入学してきた学生が多いと予想される。

日大を誇れる大学にするために重要なこととして、「魅力的な授業」(39.3%)、「学力レベルの高い」大学(35.8%)が1位、2位である。

<増加したもの>

(平成6年度 平成15年度)

・日大より高い水準の大学を希望した	(33.7% 42.1%)
・できるだけ授業に出て良い成績をとろうと思った	(61.8% 70.1%)
・他大学への再受験を考えたことがあった	(20.6% 26.4%)
・日大の良さを認める	(51.0% 56.9%)
・勉強意欲が持てる	(33.5% 44.6%)

<減少したもの>

・他の学部、他の学科に入りたかった	(36.4% 28.3%)
・今の学部で良かった	(77.4% 69.4%)
・自分の学部に誇りをもっている	(63.2% 49.9%)
・自分の学部の出身者は社会に出てから有利だと思う	(62.4% 51.5%)
・「日大生」であることに誇りに思っている	(47.0% 37.9%)
・自分の学部は今後益々世間で評価されると思う	(51.6% 46.4%)
・日大出身者は社会に出てから有利だと思う	(50.3% 41.5%)
・日本大学は今後益々世間で評価されると思う	(38.3% 33.3%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(29.4% 16.4%)
・睡眠時間は7時間以上	(32.8% 27.8%)

(8) 生産工学部

不本意入学生が比較的多い。「日大より水準の高い大学」を希望していた学生が39.6%いる。入学してからも「他大学の再受験を考えた」学生が31.5%を占めている。

アルバイトをしている学生が55.8%、そのうち87.5%が長期アルバイトである。仕送りだけでは修学継続が不可能という学生が11.9%を占め、不自由であるという学生が22.1%を占めている。

本学部への入学を決めた理由は、「総合大学だから」(24.7%)、が一位を占めるが、「希望した大学に入れなかったから」(23.0%)という理由も多く、全体としてバラツキのある理由となっている。

大学を誇れる大学にするためには、「魅力的な授業」を期待する学生が40.3%、「学力的レベルの高い」大学にするという意見が35.5%を占めている。

<増加したもの> (平成6年度 平成15年度)

・他の大学の再受験を考えた	(25.4% 31.5%)
・勉学意欲がもてるようになった	(30.2% 42.5%)
・目標をもって勉学している	(36.3% 43.7%)
・良い影響を受ける教員に出会えた	(34.4% 45.6%)
・自分の才能を伸ばしてくれる	(27.3% 33.3%)
・授業や勉学のためのゆとりの時間が持てない	(58.2% 68.4%)
・栄養バランスに気がつかっている	(39.3% 45.9%)

<減少したもの>

・入学して「さあ遊べる」と思った	(49.0% 42.0%)
・日本大学に入って良かった	(69.8% 64.8%)
・気がついてみるとぼんやりと過ごす時間が多い	(61.3% 54.4%)
・日本大学出身者は社会に出てから有利だと思う	(52.5% 41.0%)
・日本大学は今後益々世間で評価されると思う	(41.4% 35.5%)
・「日本大学新聞」をよく読んでいる	(19.8% 12.0%)
・自分の学部の学部長の名前を知っている	(35.9% 28.7%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(24.8% 15.6%)
・タバコを吸っている	(41.8% 34.5%)

(9) 工学部

不本意入学をしたという学生は14学部の平均的な位置にある。学部帰属意識が低く、大学帰属意識が平均を上回っている。

学生の意識、とりわけ4つの指標でみる限り、14学部中、平均的な位置にある。

しかし、アルバイト行動をみると、「現在、アルバイトをしている」学生は、わずかに26.8%にすぎない。「アルバイトをしたことがない」という学生が37.6%を占めている。

大学入学の理由として、「希望した大学に入れなかった」(29.2%)が一番多く、「規模が大きい」(23.2%)が続く。

大学を誇れる大学にするためには、「魅力的な授業」(40.9%)をとりあげる学生が一番多い。

<増加したもの>	(平成6年度 平成15年度)
・日大より高い大学を希望	(31.1% 37.9%)
・できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った	(68.6% 76.5%)
・入学後、勉学意欲がもてるようになった	(26.9% 42.3%)
・良い影響を受ける教職員に出会えた	(29.6% 38.6%)
・栄養のバランスに気がつかっている	(42.3% 48.0%)
・授業のための勉強やレポート作成などのためにゆとりの時間がもてない	(55.6% 63.1%)

<減少したもの>	
・東京の大学に入学したかった	(18.3% 10.1%)
・他の学部、他の学科に本当は入りたかった	(52.7% 35.6%)
・入学後、創造性が養われた	(46.7% 36.2%)
・「日大生」であることに誇りをもっている	(53.0% 43.3%)
・日本大学出身者は社会に出てから有利だと思う	(56.2% 44.0%)
・日本大学は今後益々世間で評価されると思う	(49.4% 39.3%)
・「日本大学新聞」をよく読んでいる	(23.1% 9.4%)
・自分の学部の機関誌をよく読んでいる	(55.3% 34.9%)
・日本大学校歌(一番)の歌詞を見ないで歌える	(24.0% 18.8%)
・自分の学部の学部長の名前を知っている	(55.3% 34.9%)
・日本大学の総長の名前を知っている	(16.6% 11.1%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(24.0% 11.4%)
・朝食を食べないことが多い	(62.1% 49.3%)
・普段は7時間以上眠っている	(42.9% 31.9%)
・タバコをすっている	(38.2% 28.5%)

(10) 医学部

学部帰属意識は、薬学部に次いで2番目に高い。

不本意入学は4番目に低い。

情報熟知・入手得点が非常に高く、学部内外の情報に敏感であることが予想される。

アルバイトをしている学生は15.2%と少ない。アルバイトを「したことがない」学生が43.0%を占めている。

「希望した大学に入れなかった」という学生が25.3%いる。入学を決心する理由として、総合大学だから、規模が大きいから、伝統があるからという大学の特徴は医学部の場合、かなり急速に、重要性が低下している。

誇れる大学にするためには、「学力的レベルの高い」大学にするという意見が42.4%を占め、「魅力的な授業の多い」大学にするという意見が30%台を占めている。

<増加したものと>

(平成6年度 平成15年度)

・どうしても東京の大学に入学したかった	(30.2% 44.3%)
・日本大学より高い水準の大学に入学したかった	(36.9% 45.6%)
・入学するか、浪人するかで悩んだ	(21.5% 28.5%)
・日本大学に来るべきではなかった	(12.8% 18.4%)
・入学して「さあ遊べる」と思った	(38.3% 43.7%)
・大学の雰囲気はどうしてもなじめなかった	(13.4% 20.9%)
・入学したが惨めで積極的になれなかった	(8.7% 18.4%)
・他の学部、他の学科に本当は入りたかった	(11.4% 17.1%)
・入学後、勉学意欲がもてるようになった	(41.6% 55.7%)
・気がついてみるとぼんやりと過ごす時間が多い	(35.6% 51.9%)
・自分の学部の機関誌(広報誌)をよく読んでいる	(22.8% 33.5%)
・日本大学校歌(一番)の歌詞を見ないで歌える	(8.7% 13.4%)
・日本大学の総長の名前を知っている	(56.4% 67.1%)
・夕食は普段は一人で食べている	(30.9% 41.8%)

<減少したものと>

・今の学部に入って良かった	(91.3% 54.2%)
・日本大学に入って良かった	(77.2% 71.5%)
・将来について希望がもてるようになった	(66.4% 46.8%)
・入学後、自分に自信がもてるようになった	(50.3% 37.3%)
・人間性が豊かになった	(66.4% 58.2%)
・入学後、創造性が養われた	(38.9% 30.4%)
・今、自分の将来の職業をどうしたいかがはっきりしている	(84.6% 75.3%)
・自分の学部に誇りをもっている	(84.6% 71.5%)
・自分の学部の出身者は社会に出てから有利だと思う	(75.2% 51.3%)
・自分の学部は益々世間で評価されると思う	(67.1% 51.3%)
・「日大生」であることを誇りに思っている	(48.3% 38.6%)
・日本大学出身者は社会に出てから有利だと思う	(41.6% 31.6%)
・日本大学は今後益々世間で評価されると思う	(44.3% 36.7%)
・学部長名を知っている	(89.3% 82.9%)
・週に3日以上は酒類を飲む	(24.8% 13.9%)
・授業や勉学のためのゆとりがとれない	(67.1% 61.4%)

(11) 歯学部

不本意入学者が比較的多い学部である。しかし、学部に対する帰属意識は14学部の中で5番目に高く、大学に対する帰属意識は芸術学部に次いで低い状況にある。

アルバイトをしている学生は、文科系学部の学生よりは少ないが、全体の48.6%の学生がしている。家庭からの仕送りだけで修学可能という学生が71.6%を占めている。

「希望した大学に入れなかった」という学生はわずか17.1%であり、「資格（歯科医）が取れるから」という学生が32.0%を占めている。他の学部のように「総合大学」「規模が大きい」ということは、入学の決心理由として多くはない。

日本大学を誇れる大学にするためには、「学力的レベルが高い」大学にすること（36.9%）、「キャンパスライフが楽しめる」大学にすること（32.4%）があげられており、この2つの方向を指摘する学生は増える傾向にある。

<増加したもの> (平成6年度 平成15年度)

・どうしても東京の大学に入学しなかった	(37.5% 49.5%)
・できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った	(38.8% 50.9%)
・今の学部に入って良かった	(56.6% 69.8%)
・日本大学に入って良かった	(55.6% 63.1%)
・入学後、勉学意欲がもてるようになった	(35.3% 53.2%)
・良い影響を受ける教職員に出会えた	(40.9% 51.4%)
・普段は7時間以上眠っている	(22.0% 29.7%)
・普段は午前0時前には寝ている	(19.4% 24.8%)
・夕食はほとんど一人で食べている	(28.0% 36.5%)

<減少したもの>

・入学時、卒業後の進路・就職を意識した	(80.6% 74.3%)
・自分は日本大学に来るべきではなかった	(28.9% 20.3%)
・入学してから「さあ遊べる」と思った	(51.3% 42.3%)
・大学の雰囲気はどうしてもなじめなかった	(32.3% 25.2%)
・自分より頭のいい者が周りにはほとんどいないと感じた	(24.6% 19.4%)
・他大学への再受験を考えたことがあった	(37.5% 30.2%)
・自分に自信がもてるようになった	(41.4% 36.0%)
・将来について希望がもてるようになった	(48.7% 41.0%)
・今、はっきりとした目標をもって勉学している	(68.5% 63.1%)
・学部出身者は社会に出て有利だと思う	(69.4% 59.9%)
・自分の学部は今後益々世間で評価されると思う	(53.4% 40.5%)
・日本大学は今後益々評価されると思う	(39.7% 27.0%)
・日本大学出身者は社会に出て有利だと思う	(45.3% 32.9%)
・学部の機関誌をよく読んでいる	(37.9% 32.4%)
・日本大学校歌（一番）の歌詞を見ないで歌える	(39.2% 18.0%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(36.6% 22.5%)
・朝食は食べないことが多い	(44.4% 22.5%)
・授業のための勉学やレポート作成などのためにゆとりの時間がもてない	(78.4% 73.0%)
・健康のために運動している	(52.0% 47.3%)

(12) 松戸歯学部

不本意入学者が、14学部中2番目に多い。学部への帰属意識は高い水準にあるが、大学に対する帰属意識はさらに高い。情報熟知・入手得点も最も高い水準にある。

アルバイトをしている学生は21.5%と少なく、家庭からの仕送りで修学可能という学生が74.0%を占めている。

大学入学を決めた理由は「資格（歯科医）が取れる」が29.8%で最も多い。

日大以外の「希望した大学に入れなかったから」という学生は17.7%と少ない。

日本大学を誇れる大学にするためには、「学力的レベルが高い」大学にするという意見が35.1%、「魅力的な授業の多い」大学にするという意見が32.1%を占めている。

<増加したもの>

(平成6年度 平成15年度)

・入学して「さあ遊べる」と思った	(33.3% 42.3%)
・できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った	(50.3% 56.2%)
・他大学への再受験を考えた	(26.2% 32.5%)
・日本大学に入学してよかったと思う	(63.1% 70.9%)
・今の学部でよかった	(60.0% 70.0%)
・入学直後に比べると日本大学の良さを認めるようになった	(45.1% 50.5%)
・入学後、勉学意欲がもてるようになった	(42.1% 53.6%)
・良い影響を受ける教職員に出会えた	(39.5% 53.2%)
・自分の学部に誇りをもっている	(37.9% 55.1%)
・日本大学出身者は社会に出てから有利	(43.1% 50.2%)
・学部は今後評価される	(42.1% 52.8%)
・学部出身者は社会に出てから有利	(46.7% 58.5%)
・自分の子供・身内にも将来は日本大学で学んでもらいたい	(17.4% 33.6%)
・日本大学は自分の才能を伸ばしてくれると思う	(31.3% 43.4%)
・学部長名を知っている	(85.1% 90.9%)
・日本大学の総長の名前を知っている	(31.3% 42.6%)
・夕食は1人で食べている	(32.3% 40.0%)
・栄養のバランスに気がつかっている	(47.7% 57.7%)
・健康のために運動している	(51.8% 58.1%)

<減少したもの>

・日本大学校歌（一番）の歌詞を見ないで歌える	(63.6% 49.1%)
・日本大学の学祖の名前を知っている	(47.7% 32.5%)
・授業のための勉強やレポート作成などのためにゆとりの時間がもてない	(76.9% 67.2%)



(13) 生物資源科学部

不本意入学者は、14学部中3番目に低い。

学部への帰属意識は、14学部の平均を少し上回っているが、大学に対する帰属意識は平均を下回っている。

アルバイトをしている学生は半数を超え、52.4%を占めている。

家庭からの仕送りだけでの修学については、65.4%の学生が修学可能であると回答している。

「希望した大学に入れなかった」からという学生が30.4%を占めている。日本大学よりも水準の高い大学への入学を希望していた学生が30.7%いたが、日本大学に入学するか浪人するかで悩んだという学生は19.3%である。

日本大学を誇れる大学にするためには、「魅力的な授業の多い」大学にすべきだという学生が49.0%を占めている。

<増加したもの> (平成6年度 平成15年度)

- ・できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った (54.4% 61.2%)
- ・入学後、日本大学の良さを認めた (54.4% 64.3%)
- ・入学後、勉学意欲がもてるようになった (36.4% 44.1%)
- ・授業や勉学のためのゆとりの時間がもてない (46.4% 53.4%)

<減少したもの>

- ・入学して「さあ遊べる」と思った (45.4% 32.3%)
- ・周りに、自分より頭のいい者がいない (18.3% 12.3%)
- ・他の学部、他の学科に本当は入りたかった (48.2% 36.3%)
- ・入学後、将来について希望がもてるようになった (35.9% 30.9%)
- ・自分に自信がもてるようになった (40.4% 35.3%)
- ・入学後、創造性が養われた (44.4% 34.8%)
- ・今、自分の将来の職業をどうしたいかがはっきりしている (49.2% 43.2%)
- ・自分の学部に誇りをもっている (58.0% 49.1%)
- ・自分の学部の出身者は社会に出てから有利だと思う (45.8% 30.5%)
- ・学部は今後評価される (58.8% 51.8%)
- ・「日大生」であることを誇りに思っている (51.8% 37.0%)
- ・日本大学出身者は社会に出てから有利だと思う (40.2% 30.1%)
- ・日本大学は今後益々世間で評価されると思う (38.7% 29.6%)
- ・自分の身内を入学させたい (17.6% 12.2%)
- ・「日本大学新聞」をよく読んでいる (23.2% 13.1%)
- ・日本大学校歌(一番)の歌詞を見ないで歌える (31.7% 21.1%)
- ・自分の学部の学部長の名前を知っている (49.3% 39.3%)
- ・日本大学の学祖の名前を知っている (28.1% 15.0%)
- ・普段は午前0時には寝ている (26.8% 15.6%)
- ・朝食を食べないことが多い (42.3% 34.2%)
- ・睡眠は7時間以上とっている (38.4% 28.9%)
- ・タバコを吸っている (27.8% 20.1%)

(14) 薬学部

学部に対する帰属意識は最も強いが、大学に対する帰属意識は14学部中3番目に低い。  
不本意入学意識も芸術学部に次いで2番目に低い。

アルバイトをしている学生は全体の45.3%と少ない状況にある。

家庭からの仕送りだけで修学可能という学生は65.9%を占めている。

入学を決めた理由は、「資格が取れるから」(37.9%)、「総合大学だから」(37.9%)  
が主な理由であるが、「希望した大学に入学できなかったから」(31.8%)という理由も多  
い。

日本大学を誇れる大学にするためには、「学力レベルが高い」大学にするべきである  
という意見が最も多く43.9%を占めている。

<増加したもの> (平成6年度 平成15年度)

- ・入学時に、卒業後の進路・就職を意識していた (68.2% 73.8%)
- ・どうしても日本大学より高い水準の大学に入学したかった (31.3% 37.9%)
- ・入学後、勉学意欲がもてるようになった (43.8% 54.2%)
- ・気がついてみるとぼんやりと過ごす時間が多い (44.9% 58.4%)
- ・日本大学の総長の名前を知っている (12.5% 26.2%)
- ・夕食はほとんど外食である (10.8% 19.6%)

<減少したもの>

- ・入学してから「さあ遊べる」と思った (33.0% 28.0%)
- ・日本大学に入って良かった (77.8% 68.7%)
- ・入学後、自分に自信がもてるようになった (38.1% 25.7%)
- ・入学後、人間性が豊かになった (61.4% 52.8%)
- ・入学後、創造性が養われた (37.5% 23.4%)
- ・将来の職業ははっきりしている (67.6% 62.6%)
- ・よい影響を受ける教員に出会えた (38.6% 28.5%)
- ・「日本大学生」であることを誇りに思っている (52.8% 34.6%)
- ・日本大学は今後益々世間で評価されると思う (40.3% 29.4%)
- ・日本大学は自分の才能を伸ばしてくれると思う (35.2% 21.0%)
- ・「日本大学新聞」をよく読んでいる (36.4% 10.3%)
- ・自分の学部の機関誌(広報誌)をよく読んでいる (30.1% 19.2%)
- ・日本大学校歌(一番)の歌詞を見ないで歌える (19.9% 8.9%)
- ・自分の学部の学部長の名前を知っている (68.8% 61.2%)
- ・日本大学の学祖の名前を知っている (27.3% 17.8%)
- ・栄養のバランスに気がつかっている (58.0% 48.1%)
- ・午前0時前には寝ている (26.1% 21.0%)